

センター通信



「努力は裏切らない」

伊丹市立緑丘小学校
校長 増永 光行

そろそろ、卒業式の祝辞を考えなければならない時期になりました。卒業生にどんな言葉を贈ればいいのか、悩むのが校長としての宿命であり、責務です。私のテーマは一環して「努力」。しかし、例になる題材を毎年探すのに苦勞しているのです。ここでは昨年度の卒業生に話したものを紹介します。これはウィリーという少年がお父さんの叱咤激励をきっかけに努力を重ね、苦手な勉強を克服した話です。

家から離れ、ロンドンの中学校に通っていたウィリーは、他の学科はクラスで最優秀点が取れたのに、数学だけはいつも落第点。寄宿舎で「もうだめだ、どうしてもできない。僕には数学をやる頭がないんだ。」と言って、すっかり自信をなくしたウィリーは、故郷の父親に手紙を書き、父の理解を求めたのです。「数学は大嫌いで不得手なので、こんな勉強に力を注ぐより自分の好きな得意な学科をしっかりとやって、そのほうで優れた人になりたいと思います。お父さん、数学の勉強をやめてもかまいませんか。」

すると、父親からもらった返事は「ウィリーよ。好きな学科だけを勉強するのは、勉強とはいえないよ。どんなに骨が折れても、不得意で嫌いな学科に身を入れてそれに打ち勝つのが、本当の勉強だよ。」という意外なものでした。父の励ましの声は、「お前は人より優れた立派な人間になってくれると信じている。お前が数学ができないのは、きっとできないわけがあるはずだ。そのわけをよく考えさえすれば、きっと簡単に征服できるにちがいない。しっかりとやっておくれ。」と、なおも優しく続けました。

こうしてウィリーは、父の手紙で胸を熱くしながら「よし、やるぞ」と固く決心して、言われたとおりにできないわけを考えて、ハタと思い立ったのです。

「そうだ、ぼくはむずかしい問題にぶち当たると、すぐそれをやめて、次の問題に移る。それもできないとあせって、いよいよ混乱してしまう。よし、友達が2時間勉強するなら、ぼくは4時間やろう。友達が鉛筆を1本使う間に、僕は2本使うつもりで練習しよう。」

ウィリーは決心どおり、一生懸命に努力しました。苦しく、くじけそうになる時、父の顔を思い浮かべながら、歯を食いしばって勉強を続けました。その甲斐あって、次の試験には数学で満点をとることができたそうです。

この少年ウィリーとは、後に何度もイギリスで首相を務めるなど、イギリスの大政治家といわれたウィリアム・グラッドストーンのことです。彼は、議会で演説するときは、どんなに込み入った統計数字でも、予算の数字でも、暗記して説明することができました。「あんなにむずかしい数字を原稿無しに演説できるのは、閣下だけです。閣下は天才ですね。」と、みんなが褒めると、「いや、練習のおかげですよ。」と答えていたそうです。これは、子ども時代に不撓不屈の意志力とたゆまぬ努力を積み重ねた結果にほかなりません。

かつて野口英世も「天才なんていません。全てそれは努力の結果です。」といつも言っていたそうです。「努力は裏切らない」。たゆまぬ努力で、不得手なものが得意になっていくものだと思います。

「これを実現するために、わたしは勉強している。そして、また、努力しているのだ。」という、はっきりした目的を持って充実した日々を送ることが大切だと考えています。

『ありのまま』を受けとめて

少年補導委員人権全体研修会の講話から

平成26年12月15日(月)、上記研修会を開催し、伊丹市人権教育指導員の波多江みゆきさんに、『ありのまま』を受けとめて」と題してご講演いただきました。「～してはいけません」という禁止用語を用いない「積極的人権擁護」の切り口で、参加者が交代で演技をする1分間ゲームなどを交えながら、わかりやすくご講演いただきました。その一部を紹介します。

- ・自分の言葉に耳を傾けてもらえる場所が自分の居場所。
- ・「聞く」と「聴く」は違う。(相手が話し易くなるような、聴き方を参加者が交代で体験しました。)
- ・「あなたはあなたのままで良いよ。私も私のままで良いよ」と自分を認めることから始める。まず、保護者が自分自身の自尊感情を高めることで子どもへのイライラが減少する。



- ・「幸せ」を感じることが大事で、「幸せ」は伝搬する。
- ・一日の最後はプラスのことばになるよう心がけて、良い睡眠を取ると翌朝まで頭に残り良い目覚めがある。
- ・「ことだま」というように「うれしい」「よかった」「ありがとう」等の言葉はプラスのエネルギーを持つ。
- ・笑顔が笑顔をよんで、地域の環境浄化につながる。地域がよくなれば伊丹のまちがよくなる。

1月の主な行事

7日(水) 伊丹市少年補導委員連合会
役員会・定例理事会
9日(金) 少年を守る日(市内広報・一斉補導)
10日(土) 伊丹市少年育成協会新年交歓会

16日(金) 合同教育相談
20日(火) 伊丹市少年進路相談員連絡会
20日(火) 宝塚市・伊丹市少年補導委員合同補導
23日(金) 神戸保護観察官駐在
27日(火) 有害図書回収

最後に話された「自分のありのままを受け入れて、自分を愛することで、他人をありのまま愛せる」という言葉が印象的でした。

年末一斉パトロール

平成26年12月16日(火)実施

例年冬休み前のこの時期に、市内の全小中学校PTAが中心になり、伊丹警察署や伊丹防犯協会、阪神北少年サポートセンター、各自治会、少年補導委員等が連携し、18時30分より市内全域で年末の一斉パトロールを実施しています。当日は年末のご多用な中、また少し雨交じりの非常に寒い中にも関わらず、市内全体で1,438名が参加してくださいました。

青少年が、たむろしやすい場所や危険箇所での補導活動と「愛の一声」運動を実施しました。

これからも市民全体で伊丹の青少年を守り育てていくことが必要です。みなさんのご協力をお願いします。

◆街頭補導の件数 《平成26年12月》

	幼小	中	高他	大人	計
声かけ・会話等	223	70	19	65	377
遊びに関して	10	10	4	4	28
ぐ犯・不良行為	3	4	3	0	10
交通に関して	21	14	42	103	180
計	34	28	49	107	218

◆電話・来所相談の件数 《平成26年12月》

	件数	前月比	累計
電話相談	3	-2	111
来所相談	1	±0	26

◆白ポスト回収状況 《平成26年12月》

	数量	前月比	累計
有害図書	147	-128	
有害AV	423	-32	
計	570	-160	6,505

白ポスト設置場所(市内16箇所)

車塚公園・阪急稲野駅・南センター・阪急新伊丹駅・阪急伊丹駅・いたみホール
パワ公園バス停・荒牧バス停・北センター・中野西公園・裁判所前・山田バス停
女性児童センター・JR伊丹駅1F・JR北伊丹駅南口駐輪場・西桑津バス停

※「センター通信」へのご意見ご感想を、伊丹市立少年愛護センター(Tel:780-3540)までお寄せください。